専修大学附属高等学校 季刊だより

Buddy!

★バディ!

専大附属ニュース
No.71
平成26年11月1日

専修大学附属高等学校
広 報 部
東京都杉並区和泉 4-4-1
TEL.03-3322-7171
FAX.03-3322-9043
http://www.senshu-u-h.ed.jp/

地域交流

地域交流の場が「地域力」向上の一助に!

連載シリーズ記事

年間行事
イベントレポート
いずみ祭(文化祭)

シリーズ連載 ~4時間目~
「Teacher 平澤の 学べる古典」

CLOSE UP! 文化部 特集

吹奏楽部&放送部&料理部&GCC/今回は文化部を特集!顧問、生徒からクラブを紹介します!

Buddy! Teachers 3

今回はティーチャーズ・スリー！
家庭科の柴田先生、英語科の赤尾先生、
音楽科の池野先生を紹介します。
ご自身の担当教科を通じて、生徒に学んでほしい
ことなどをコメントしていただきました。

柴田実花 先生（家庭科）

家庭科といえば料理と裁縫というイメージを持っている生徒が大変多いです。楽しい調理実習だけやっていたいという声もあるくらい。一生続く3度の食事は大切にしたいと考えますが、ただ作り味わうだけではなく、食の文化や栄養、世代別の配慮など様々な視点で考え、実践し、楽しめるようにと願っています。家庭生活の営みに不動の正解はなく、家庭は社会の変化を敏感に受け止め、影響を受けるもの。授業は現代事情を知り視野を広げると同時に、自分はどう考え行動するか、想像力を働かせてシミュレーションする場、グループ学習を通して多様な価値観に触れ、また、互いに尊重して協力する訓練の場として生かしてほしいです。人生を賢く豊かにするヒントのかけらとなってくれたら最高です。

赤尾美香 先生（英語科）

異なる文化を背景にもつ相手と意思疎通を行う時、英語はその手段の一つとして有効です。"Thank you."の一言でも、自分の言葉で相手に思いを伝えることに意味があります。しかし、これは英語に限ったことではありません。私たちは普段日本語を当たり前のように使い、相手が言葉を理解できることを前提に、「言わなくてもわかる」と甘えていませんか？話す、書くなど伝える手段は色々とありますが、自分の思いや考えを持ち、それを相手に伝わるように表現することが、他者と関わって行く中で必要です。「英語」という言葉を学ぶことができるこの機会に、ぜひ自分の言葉にも目を向けてみてください。

池野麻美 先生（音楽科）

本校は、例年８～９割の生徒が親大学である専修大学へ進学してることから、受験勉強にとらわれない、伸び伸びとした高校生活が送れる学校です。平成６年から共学になり、女子一期生が２年次に導入された音楽を当初から担当していますが、その頃からずっと、主要科目だけでなく、他教科も積極的に授業に取り組めるのが、本校の生徒の良い所だと感じています。11月の合唱コンクールでは、練習を重ねて、元気で美しいハーモニーが毎年体育館に響き渡ります。今年も各クラス、団結力と達成感を味わいながら、金賞目指して頑張りましょう！

新任教諭 INTERVIEW

長谷川 航大先生

ガンバります

メッセージ

長谷川 航大

初めまして!!長谷川航大と申します。科目は高３の地理を担当しております。専大附属の教員となり、約半年が過ぎました。日々授業や部活で深く生徒と関わることができ、幸せに感じております。

教員を志したのは中学時代、とても親身に進路相談にのって頂いた担任の姿に憧れたのが最初のきっかけです。また、大学で学んだ地理を活かしたいというのも理由の一つです。

専大附属の生徒は人なつこく、楽しい雰囲気を作り出すのが上手な印象を受けます。行事での高校生らしい元気の良さや男女関係なく仲の良い光景、それらを目の当たりにする度に「この高校に通ってみたかったな」と思います。

教員生活は始まったばかりですが、皆さんが充実した高校生活を送れるように全力でサポートをしていきたいと思います。

年間行事
イベントレポート

専大附属の文化祭

いずみ祭

9月20日(土)▶21日(日)

今年のいずみ祭は“Green Peace”がコンセプト。
２日間ともに天候にも恵まれ、
学校の様々な場所から活気あふれる声が聞こえてきました。
全校生徒で団結して成功させた文化祭は
思い出に残ること間違いなしです！

来校者
約3,500名!!

1年 出店リスト

- Ⓐ 美少女パラダイスでAじゃないか
- Ⓑ Yone Tube
- Ⓒ 嬉C楽C見てほC
- Ⓓ 白雪妃と愉快な仲間達
- Ⓔ ツンデレラ
- Ⓕ F ステ
- Ⓖ ドッキリ大作戦
- Ⓗ Peach Boy
- Ⓘ てるとゆかいな仲間たち
- Ⓙ 進撃のデレラ

ガンバレ！笑顔！笑顔！

2年 出店リスト

- Ⓐ 笑ったら襲われるお化け屋敷～全員OUT～
- Ⓑ 女装屋敷
- Ⓒ ミヤッCha
- Ⓓ アウト・D・ジョーンズ
- Ⓔ スパイダーウォーズ
- Ⓕ FOY Story Mania
- Ⓖ 魔女ライトイヤー
- Ⓗ Its a 2H world
- Ⓘ お化け屋敷
- Ⓙ JALAND

魔女軍団じゃー!!

ポテト、おいしいよ！

こ、こげる～

3年 出店リスト

- Ⓐ ホットク
- Ⓑ ポテト
- Ⓒ トルティーヤ
- Ⓓ フレンチトースト
- Ⓔ たこやき
- Ⓕ から揚げ
- Ⓖ 串焼き
- Ⓗ ケバブ
- Ⓘ パンケーキ
- Ⓙ タピオカ
- Ⓚ ワッフル

準備風景

頑張ったぴょん！

化部集

料理部

■顧問／柴田 実花先生

おいしいものに目がなく、料理でもてなし喜んでもらうことも好きな人間集団です。料理を文化的、科学的側面からも学び、味わうのが醍醐味で、各種イベントや普段の調理を段取りよく、仲間と気持ちを合わせて実践することを心がけています。

■部長／3年　Yさん

私達料理部は週に2回活動しています。テーマを決め、自分達でメニューを選び、主食、副食、主菜、デザートなどを作ります。ただ作るだけではなく、栄養、カロリー、見た目にも気をつかって、過去には「世界の郷土料理」や「ヘルシー料理」というテーマで学習し実習してきました。合宿では現地に赴き、郷土料理などを学びます。山梨県ではほうとう、新潟県ではそば打ちなどを体験しました。また合宿におけるミーティングは幹部交代の場として、普段言えない想いや感謝の気持ちを伝え合う場でもあります。私達はその時間をとても大切にしています。そして、年間活動のうち一番力を入れているのはいずみ祭のアップルパイ製造です。半年ほど前から練習を始め包丁に不慣れな1年生も2分30秒以内にりんごの丸むきを終えるようにします。ジャムもりんごの種類によって味が変わるので、毎年試作を重ね、その年オリジナルのおいしいジャム作りを目指しています。できるだけ待たせずにあつあつのパイを食べて頂くために、調理室内では休む間もなく全員走り回って製造しています。文化祭をやりきって、部員達の絆はさらに深まります。SCC (Senshu university highschool Cooking Club) はこれからも感謝の心や、思いやりを大切にし、活動していきたいです。

GCC

グローバルコミュニケーションクラブ

■顧問／安達 翔子先生

GCCでは、「さまざまな国の文化を学び、それを発信する」というコンセプトのもと活動しています。ASEAN　FESTIVALに参加し、そこで知った料理についてまとめたり、英会話力をつけるべく、英会話練習をしたり、幅広い活動をしています。

■部員／1年　Mさん

私達、グローバルコミュニケーションクラブ略してGCCは今、男女合わせて23人で活動しています。週2日の活動の中でたくさんのことが吸収できます。今年は、白雪姫の映画を英語で見ました。ただ見るだけではなく、見た後には、それぞれ役を決めてセリフを練習し、アフレコに挑戦しました。また、ASEAN加盟国がそれぞれの国の料理や伝統品を売っているASEANフェスティバルに参加しました。他にも、アメリカからの留学生との交流をしたり、文化祭では韓国料理で有名なチヂミを販売しました。このようにGCCでは様々な国のことを知ったり体験でき、自分を成長させることができるチャンスがたくさんあり、楽しい部活です。

■部員／2年　Hさん

GCCではいろいろな国の学生たちと交流する機会があります。その中で、相手の国の言葉を理解することだけではなく、相手の国の文化を知ることが大切であることを学びました。その活動の一環として、GCCは毎年文化祭で海外の国の国民食と言われるメニューを自分たちで調理して販売しています。去年はインドのラッシーで、今年は韓国のチヂミでした。この活動が、ご来店頂いた方の異文化を知るきっかけになればと思っています。

吹奏楽部

■顧問／平木 小百合先生

吹奏楽（学）とは、人間の体は1つだけど、心意気（息）次第で、みんなの息が一体化し、すばらしいサウンドを学ぶことができる学問だと思います。その学問を通した活動では、生徒主体の部活動となっています。だから、互いにぶつかり合って解決しようと努力を重ね、素敵に成長していきます。教師はそのサポートをしているだけです。そして最大の力を発揮して頑張れる高校時代に本校の吹奏楽を通して鳥肌が立つような涙あふれるサウンドを届けることができるのだろうか？私たちの課題ですね。

■部長／3年　Yさん

こんにちは。吹奏楽部です。月曜日から土曜日、週6日間活動しています。今年度はさらに部員が増え、1年生22人、2年生28人、3年生10人の計60人で「越える」を目標に日々練習に励んでいます。

入学式や卒業式、文化祭などの学校行事、夏のコンクール、3月の定期演奏会、地域の行事など様々な場所でより多くの方々に聴いて頂く事により、1人1人の技術向上を目指すことはもちろん、感謝の気持ちを大切にしています。

全員で1つのものを作り上げる為に、パートや学年の垣根を越えられるような雰囲気作りを今年は特に意識してきました。

今はアンサンブルコンテストや定期演奏会に向け、毎日練習しています。また1・2年生は、来年度のコンクールも見越して個々の技術を磨いています。

卒業後まで活動する、とても忙しい部活ですが長くできるからこそ、やりがいのある部活です。

CLOSE UP!

文特

放 送 部

■顧問／榊原 啓介先生

外部の大会に映像、音声の作品（ドラマ、ドキュメント）を出品し、また、朗読やアナウンスで参加しています。声を出すことが好きな人、カメラや編集機材を扱うことが好きな人、演じることが好きな人、様々な人が個性を発揮できるクラブです。

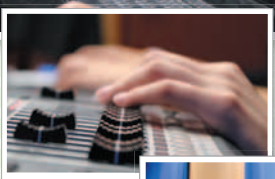
■部長／3年　Sさん

こんにちは！放送部です。みなさんは「放送部って何しているの？」と思っているかもしれないので少し紹介したいと思います。普段の放送部は撮影・編集をしています。みなさんが見たことのある動画としては新入生オリエンテーションの学校説明動画や、生徒総会で流す文化祭の動画なども私たちが作成しています。

放送部は年に2回大会があり毎年作品を出品しています。テレビ、ラジオ、ドラマ、ドキュメント等ジャンルは様々です。それに加え、アナウンス・朗読と声を使った部門もありこちらも毎年出場しています。成績として昨年はテレビドキュメント部門で全国大会に出場させて頂きました。今年はラジオドラマ部門で東京都3位だったため、全国大会に出場することを目標に日々頑張っています。

部活内での雰囲気はとても和やかです。普段はゆるくほんわかと部員が個々に作りたい映像を作っています。ただ作成している映像に対しては力を入れているため、1分1秒、1カット1シーンに、細部まで丁寧に作りあげています。そのため1本を作成するのに長い時間をかけるので、なんだかんだ忙しいのが現状です。

放送部に入部すると機材に強くなります。そして裏方として「どういう風に見せたら…」と映像を見る人に対しての思いやり等、与えられた仕事に対して、丁寧にやり遂げていくことを学べます。放送部は専大附属の「小さな会社」のようなものかもしれません。これからも放送部をよろしくお願いします。



地域交流

地域交流の場が「地域力」向上の一助に！

渡邉 賢 先生

土曜講座「まちを見る」（1・2年生）と総合的な学習の時間「まちとひとを考える」（3年生）では、地域交流をテーマに実践的な学習をしています。これまで本校生徒が近隣住民の方々と交流を結ぶ機会は、本当にごく限られたものでしたが、専大附属の地域交流は着実に芽吹き始めています。

もともとこの二つの講座は、ある地域の特徴を理解するということを目的として、近郊の街を散歩し、おいしいものを食べ歩くという講座でした。自宅と高校の往復だけでは気付かないこと、ただ歩いただけでは見過ごしてしまう街の顔を見つけることはとても楽しいことです。しかし、私たち専大附属の地元、杉並区和泉を振り返ってみるといくつかの課題が見えてきました。

本校所在地の杉並区和泉周辺は昭和中期（戦後から高度経済成長期）に宅地開発が進み、新宿副都心にも近い閑静な住宅地として発展してきました。現在でも田畑を宅地開発した名残が強く、細い路地が入り組む木造住宅密集地帯となっています。そのため、東京都震災対策条例に基づいた地域危険度測定調査でも危険度ランクは高い状況にあります。また、少子高齢社会の典型で、震災救援所に指定されている近隣の小学校は統合されるうえ、高齢者のみで居住する住宅も多いようです。このような町で学校生活を送る私たちにとって、「何をするべきか、何ができるか」という問いに受講生が考えだした答えが「地域交流」の実践でした。

講座での地域交流の実践として、これまで本校近隣にお住いの方々を招いた「タウンミーティング」や「クッキングパーティ」を実施してきました。また、区民センターのお祭りのお手伝いや高齢者がお住まいの家庭訪問など、ボランティア活動も行っています。面識も無く、世代も全く違う相手との交流に当初は戸惑う様子もありましたが、回を重ねる毎にお互いの緊張感がときほぐされていくのが感じられました。

地域社会での高校生は、時として「守られる」立場ではなく「守る」立場にならなければなりません。そう実感させられたのは、生徒会執行部に同行し訪問した石巻の高校生との交流でした。日常を一瞬で奪われ、極限状態になりながらも避難所運営に携わる高校生の話を聞いた時、私たちには大きな課題が残されていると感じました。私立高校も地域で生活していることには違いありません。災害などの非常時には地域ぐるみで助け合える関係を築いていく必要があります。同時に、生徒の自立的・献身的精神もさらに充実させなければなりません。

学校として、防災面でのマニュアルは必要であり、それに基づいた訓練も欠かせないものです。「想定外」という言葉で片付けることなく、臨機応変に行動が取れる柔軟さも大切なことだと思います。学校近隣の方々と顔の見える、声の届く関係を築いていければ、「地域力」の向上につながることでしょう。マグニチュード7クラスの首都直下地震が想定される昨今、防災・減災に求められるものは備蓄や避難マニュアルだけでなく、自助・共助の精神を地域ぐるみで培っていくことです。この地域交流の場が、一層の「地域力」向上の一助になることを願っております。

Sさん

私は「まちを見る」という講座を受講しています。その名の通りまちを見て歩き、自ら体験し、視野を広くする講座です。まちの様子は地域ごとで適した作りになっていて、商店街などは、人と人との交流の深さが見えます。夏休み前に、学校で地域の方々を招き、「タウンミーティング」が開かれました。学校の周りの危ない場所や避難場所の確認などを話し合いました。学校の周りの道は複雑に入り組んでいて細く、車と人がすれ違う事は困難です。カーブミラーを設置したり、ポールをたてたりと、事故が起こらないように、工夫が必要だと思いました。避難場所も今までの場所がなくなり、遠い場所になってしまうそうです。私達の学校を避難場所の一部に出来たらいいのですが、現実はとても厳しいです。グラウンドは生徒だけで一杯になってしまうので解放が難しいのです。地域の方も安心できるまちづくりを私達は考えていかなければならないと思いました。そして地域の方と交流をもっと深め、双方の思いを知り、認め合っていきたいです。

地域のつながりの中で

和泉第二町会
田村美子さん

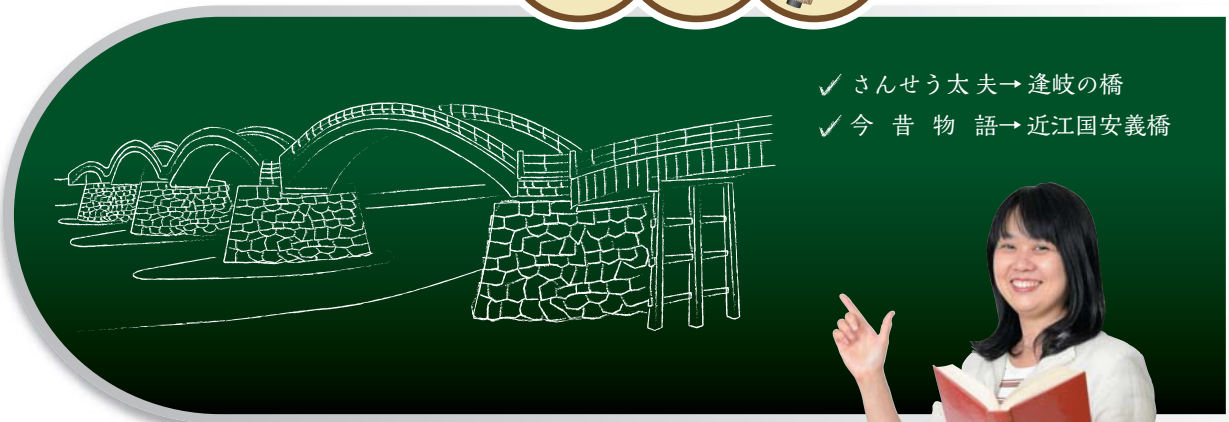
専大附属高校の選択講座の一つとして「まちを見る」活動を始めたということで、地域の私たちも生徒の皆さんと一緒に話し合う機会を持ちました。なごやかな雰囲気の中で若者の考えの一端に触れる事が出来ました。クッキングパーティでは、みんなで白玉を作って食べることとなり、昔の食べ方の他、チョコレートを付けたり焼いてみたり、発想の豊かさに驚きながら楽しい一時を過しました。

今、この地域では、
①人の入れ替りも多く商店が少なくなりました。
②来年度は、新泉小学校が杉並和泉学園として移転します。
③年々お年寄りが増え、一人暮らしの心配も。
④特に気掛かりは地震対策ですが、防犯・防災のためにも夜回りに力を入れています。

この機会に、私たちも高校生の皆さんと一緒に町を見直して、安全で明るい町作りをしたいと思います。よろしくお願い致します。

Teacher 平澤の 学べる古典

Teacher○○の 特別講義 ～4時間目～



4時間目 古典から学ぶ 境界を歩く

「安寿恋しや、厨子王恋しや、…」と鳥追いをする盲目の母。安寿と厨子王の物語をご存じですか。その元祖？とも言われる説経「さんせう太夫」で、母と子の別れの切掛けとなった場所は、「逢岐の橋」（直江津）でした。この橋で人売りの一味に出会うのです。身分によって住む場所が定まっていた時代に、「橋」は如何なる人も通行ができ、留まることが許された場所でした。定住する地を持たず旅する人々も、その場所を溜り場としたのです。「橋」とは雑多な人々が集まる境界であり、多くの事件が起こる場所でした。人売りだけでなく、近江国安義橋の鬼（『今昔物語』）など「橋」にまつわる説話が見られるのは、境界で起こる事件の象徴的な側面の現れなのかもしれません。「橋」に限らず門も境界です。羅城門も説話の舞台として知られていますね。そして現代。中学から高校、高校から大学。私たちの人生にも境界があります。そこには不安やアクシデント、出会い、予期せぬドラマが起こります。境界を歩く気持ちは今も昔もハラハラドキドキ。さて皆さんは、人生の境界をどのように歩きますか。

プロフィール
平澤千秋 教諭
（国語科）

次号、5時間目に続きます！

平成27年度 専修大学附属高等学校 入試要項 学校説明会

平成27年度 入試要項（共学）

	推薦入試	一般入試
募集人員	200名（男子130・女子70）	200名（男子130・女子70）
選抜方法（入試科目等）	面接・書類審査	英語・数学・国語・面接・調査書審査
願書受付	1月15日（木）・16日（金）	1月26日（月）～2月6日（金）
入学試験日	1月22日（木）	2月10日（火）
合格発表日	1月23日（金）	2月12日（木）

学校説明会

説明会当日は、平成27年度の入試要項、進路・学校生活などについて詳しくご説明致します。大学の付属高校ならではの、のびのびした学校生活を、皆さんものぞいてみませんか？ご来校をお待ちしております！

日程
・11月 1日（土）
・11月15日（土）
・12月 6日（土）

いずれも午後2時より
ご予約不要
入試相談コーナー設置

★体験授業スケジュール（要Web予約）

第3回 11/15（土）
●入試解説：国語／英語／数学
●生物

第4回 12/6（土）
●入試解説：国語／英語／数学
●世界史

あなたにぴったりの留学プログラムは？

start

2週間以上の留学経験がしたい！

- Yes → **1ヶ月程度の留学じゃもの足りない！**
  - Yes → **現地の高校に通ってみたい！**
    - Yes → 6
    - No → 5
  - No → 4
- No → **留学先で英語を学びたい！**
  - No → 1
  - Yes → **英語力に自信アリ！**
    - No → 2
    - Yes → 3

結果の番号と同じ番号を見てね！

素敵な留学プログラムを見つけてね！

1
アジア文化を体験したい
あなた向けのプログラムは…
夏期韓国研修旅行

2
英語に自信は無いけど海外留学をしてみたい
あなた向けのプログラムは…
夏期オーストラリア語学研修

3
現地で自分の英語力を試したい
あなた向けのプログラムは…
アメリカ短期交換留学

4
1ヶ月程度海外で留学してみたい
あなた向けのプログラムは…
ニュージーランド語学研修

5
3ヶ月の中期留学に興味のある
あなた向けのプログラムは…
ニュージーランド中期語学研修

6
4ヶ月の留学で現地高校生活も体験したい
あなた向けのプログラムは…
カナダ中期語学研修

1～3月実施プログラム特集

ニュージーランド語学研修

■期　　間：1月末～2月末頃（約1ヶ月間）
■募集人数：5～10名程度（3年のみ）

部活引退後にも参加できるプログラム！

アメリカ短期交換留学

■期　　間：3月中旬～3月末（12日間）
■募集人数：6名程度

姉妹校なので来日イベントを通じても交流できる！

この夏、オーストラリア・韓国に行ってきました！

夏期オーストラリア語学研修体験記

■研修場所：クイーンズランド州タウンズビル
■研修期間：平成26年7月21日～8月3日
■対象学年：全学年　■参加人数：33名

僕は元々あまり人とコミュニケーションを取るのが好きではなかった。でも、オーストラリア人の優しさ、フレンドリーさに感心し、自分もそのような人間になりたいと思い、オーストラリアでは特に、学校で、多くの人に挨拶をしたりした。そのおかげもあって、たくさんの友達ができた。別れの日、朝からすでに泣きそうになった。あんなに英語ができない自分にとても優しく接してくれたことに涙が出そうになった。

1年　S

夏期韓国研修旅行体験記

■研修場所：ソウル市　檀國大學校師範大學附属高等学校
■研修期間：平成26年8月19日～8月23日
■対象学年：全学年　■参加人数：10名

韓国に行き姉妹校の生徒と交流すると今までは知らなかった韓国のことや日常生活の中での日本との文化の違いを学ぶことが出来ました。また、私が今回の研修で最も印象に残っていることは、韓国の部隊・軍隊を訪れたことです。日本の学生が他国の軍を訪れるということはとてもすごいことだと痛感しました。この経験はおそらくもう二度と出来ないので記憶に深く留めておきたいです。

3年　S

編集後記

今回のBudday!はこれまであまり表に出てこなかった専修大学附属の魅力にせまってみました。これらの内容をご覧になって本校の新たな面を知っていただければ幸いです。今後も様々な行事や取り組みを扱っていきますので次号もお楽しみに。また、制作に携わっていただいたみなさま、ご協力、誠にありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。

■お問い合わせ先
専修大学附属高等学校
〒168-0063　東京都杉並区和泉4-4-1
TEL.03-3322-7171　FAX.03-3322-9043
URL http://www.senshu-u-h.ed.jp/
MAIL nyuushi@senshu-u-h.ed.jp